

画像を自動的にページめくりさせる(スライドショー)

撮影した内容を自動的に次々とページめくりさせる機能(スライドショー)です。ページめくりの間隔を設定することもできます。



1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“スライドショー”と選び、[▶]を押します。
3. 各設定項目を設定します。各設定方法については、下記をご覧ください。
 - 表示画像 「表示画像を設定する」(82ページ)
 - 時間 「時間を設定する」(83ページ)
 - 間隔 「間隔を設定する」(83ページ)
 - キャンセル スライドショーを終了します。
4. [▲][▼]で“開始”を選び[SET]を押します。

5. [SET]を押すとスライドショーが終了します。

- “時間”で設定した時間が経過すると自動的に終了します。

重要! • 画面の切り替り中はボタン操作が効かなくなります。画面が静止している時にボタン操作をしてください。ボタンが効かない場合はしばらくボタンを押し続けてください。
 • 動画は自動的に1回再生します。
 • 音声付き動画、ボイスレコードファイルは、自動的に音声を1回再生します。
 • 音声再生中に[▲][▼]を押して、音量を調整することができます。
 • パソコンからコピーした画像や、他のデジタルカメラの画像では、設定した間隔より長くなる場合があります。
 • [DISP]を押すことで、画面の表示内容を切り替えることができます。

表示画像を設定する

1. [▲][▼]で“表示画像”を選び[▶]を押します。
2. [▲][▼]で表示内容を選び[SET]を押します。
 - 全画像 : メモリー内にある全てのファイルを表示します。
 - 1枚画像 : ファイルを一枚のみ選んで表示します。お気に入り: お気に入りフォルダ(92ページ)にあるファイルを表示します。
3. [▲][▼]で“開始”を選び[SET]を押します。
 - スライドショーが始まります。
 - 音声付き静止画/ボイスレコードでは、音声も再生します。

■ 1枚画像について

“1枚画像”では一枚のみ画像を選んで表示することができます。フォトスタンド機能(83ページ)で画像を一枚のみ表示させたい場合に使用します。

1. [▲][▼]で“1枚画像”を選び[▶]を押します。
2. [◀][▶]で目的の画像を表示させます。
3. [SET]を押すと、設定を確認してメニュー画面に戻ります。
 - [MENU]を押すと設定をキャンセルしてメニュー画面に戻ります。



時間を設定する

1. [▲][▼]で“時間”を選びます。
2. [◀][▶]で再生したい時間を選び[SET]を押します。
 - 時間は1~60分の間で指定できます。
3. [▲][▼]で“開始”を選び[SET]を押します。
 - スライドショーが始まります。

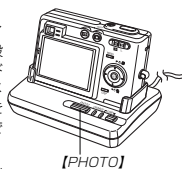
間隔を設定する

1. [▲][▼]で“間隔”を選びます。
2. [◀][▶]でスライドショーの間隔を選び[SET]を押します。
 - 間隔は“最速”と1~30秒の間で指定できます。
 - 間隔を“最速”に指定したとき、動画は先頭のコマのみを再生します。
3. [▲][▼]で“開始”を選び[SET]を押します。
 - スライドショーが始まります。

USBクレードルにセットしたままスライドショーさせる(フォトスタンド機能)

カメラをUSBクレードルにセットしたままスライドショーができます。電池の消耗を気にせずに、フォトスタンドのように画像を見ることができます。フォトスタンド機能はスライドショーの設定にしたがって表示します。あらかじめスライドショーの設定を行ってください(81ページ)。

1. カメラをUSBクレードルにセットします。
 - カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
2. USBクレードルの[PHOTO]を押します。
 - スライドショーが始まります。
 - [MENU]を押すと、スライドショーの各設定項目が設定できます。スライドショーを再開するには、メニュー表示中に[MENU]を押すか、“開始”を選んで[SET]を押してください。
 - 音声再生中に[▲][▼]を押して、音量を調整することができます。



3. [PHOTO]を押すとスライドショーが終了します。

重要! • スライドショー中は電池の充電ができません。充電する場合はスライドショーを終了してください。

回転表示させる

画像の回転情報(向き)を画像ファイルに書き込むことができます。再生時には回転情報をもとに画像を表示することができます。縦置きで撮影した画像や、回転させたい画像に使用すると便利です。

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“回転表示”と選び、[▶]を押します。
3. [◀][▶]で回転させたい画像を表示させます。
4. [▲][▼]で“回転”を選び[SET]を押します。
 - “回転”を選んだ状態で[SET]を押すたびに90°ごとに右まわりに回転します。
5. [MENU]を押して設定を終了します。



重要! • メモリープロテクトをかけたファイルは、回転することはできません。メモリープロテクトを解除してから操作してください。
 • 他のデジタルカメラで撮影した画像では、回転できない場合があります。
 • ムービー/ボイスレコードは回転表示できません。

画像ルーレット機能を使う

カメラ内の画像を【液晶モニター】でルーレットのように送りながら1枚の画像を選択していく機能です。画像ルーレットがスタートすると画像はランダムに選択されて送られます。最初は速く送り、徐々に送る速度をゆるめていき、最後に1枚の画像を選択して止まります。最後に選択される画像がどれになるかはわかりません。全く規則性はありません。

1. 電源が切れている状態で、【◀】を押したまま【▶】(PLAY)を押して電源を入れます。
 - 【▶】は【液晶モニター】が表示されるまで押し続けてください。
 - 画像ルーレットが開始され、最後に1枚の画像が選択され止まります。
2. 【◀▶】を押すと、画像ルーレットを再開します。
3. 【REC】(REC)を押してRECモードにするか、【電源ボタン】を押して電源を切ると、画像ルーレット機能は終了します。

- 重要!** ● 動画やボイスレコードファイル画像は画像ルーレットの対象となりません。
- 静止画が1枚だけの場合は、画像ルーレット機能に入りません。
 - カメラで撮影した画像がルーレットの対象となります。他の画像が入っていると、画像ルーレット機能が動作しない場合があります。
 - 画像が停止してから約1分以上、次の画像ルーレットを開始しないと、通常のPLAYモードになります。
 - 画像ルーレット機能は「REC/PLAY」の設定(103ページ)が「パワーオン」または「パワーオン/オフ」の場合に使用できます。

画像に音声を追加する
(アフターレコーディング機能)

アフターレコーディング機能(アフレコ)により、撮影済みの画像に音声を追加することができます。また、音声付き画像(📷)が表示される画像)に録音された音声を、記録し直すことができます。

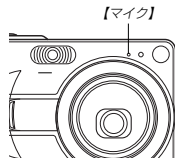
- 録音形式：WAVE/ADPCM記録形式
音声を録音するためのWindows標準フォーマットです。拡張子は“.WAV”となります。
- 録音時間：1画像につき最長約30秒間
- 音声ファイルサイズ：約120KB(約4KB/秒で30秒間録音時)

1. PLAYモードにして、【◀▶】で音声を追加したい画像を表示させます。
2. 【MENU】を押します。
3. “再生機能”タブ-“アフレコ”を選び、【▶】を押します。



重要!

- カメラ前面部にある【マイク】を必ず対象に向けてください。
- 指などで【マイク】をふさがないようにご注意ください。
- 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
- 録音中にボタン操作をすると、操作音が入ることがあります。
- 音声を追加した画像には、📷(音声アイコン)が表示されます。
- メモリー容量が少ないときは、録音できない場合があります。
- 次の場合は音声を追加することはできません。
 - ムービー画像に音声を追加しようとした場合
 - 画像にメモリープロテクトがかかっている場合(91ページ)
- 音声を記録し直した場合または音声を消去した場合、前に録音していた音声は消え、二度と元に戻すことはできません。音声を記録し直す際は、よく確かめてから行ってください。



音声を再生する

ボイスレコードファイルに録音した音声を再生します。

1. PLAYモードにして、【◀▶】で再生したい音声(📷)が表示される画像を表示させます。
 2. 【SET】を押します。
 - ボイスレコードファイルの音声がスピーカーから再生されます。
- 音声再生中に、次のような操作ができます。
- 音声を早戻し/早送りする 【◀▶】を押し続ける
 - 再生と一時停止を切り替える ... 【SET】を押す
 - 音量を調整する 【▲▼】を押す
 - 再生を終了する 【MENU】を押す



- 重要!** ● ボイスレコードファイルの音量調整は、再生/一時停止中に可能です。
- 録音時にマーキング操作を行ったボイスレコードファイルでは、一時停止中に【◀▶】を押すことにより、マークを付けた位置まで再生位置を移動させることができます。続けて【SET】を押すと、マークを付けた位置から再生を始めることができます。

消去する

ファイルを消去する方法には次の2つの方法があります。

- 1ファイル：ファイルを1ファイルずつ消去する。
- 全ファイル：すべてのファイルを消去する。

- 重要!** ● 一度消去してしまった記録内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行う際は、本当に不要なファイルかどうかをよく確かめてから行ってください。特に全ファイル消去の操作では、記録したすべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- メモリープロテクトのかかったファイルは消去できません。メモリープロテクトを解除してから操作してください(91ページ)。
 - すべてのファイルがメモリープロテクト(92ページ)されている状態では、消去は実行できません。
 - 音声付き静止画を消去すると、画像ファイルと音声ファイルの両方を消去します。

1ファイルずつ消去する

表示されているファイルを1ファイルずつ消去することができます。

1. PLAYモードにして【📷】(📷)を押します。
2. 【◀▶】で消去したいファイルを表示させます。
3. 【▲▼】で“消去”を選びます。
 - 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。
4. 【SET】を押して、表示しているファイルを消去します。
 - 手順2~4を繰り返して、他のファイルを消去することができます。
5. 【MENU】を押して、消去操作を終了します。



- 重要!** ● 消去できないファイルを消去しようとする、このファイルではこの機能は使用できません」と表示されます。

全ファイルを消去する

すべてのファイルを消去することができます。

1. PLAYモードにして[▼](4 冪)を押します。
2. [▲][▼]で“全ファイル消去”を選び、[SET]を押します。
3. [▲][▼]で“はい”を選びます。
 - 消去を中止したいときは、“いいえ”を選んでください。
4. [SET]を押して、すべてのファイルを消去します。
 - すべてのファイルが消去されると、“ファイルがありません”と表示されます。

ファイルの管理について

本機では画像の撮影や再生の他、ファイルの消去防止等の設定ができます。

フォルダの分類について

本機は内蔵フラッシュメモリーやメモリーカード内に、フォルダ(ディレクトリ)を自動的に作成します。

メモリー内のフォルダ/ファイルについて

撮影した画像は連番を名前としたフォルダの中に自動的に記録されます。フォルダは最大900作成されます。フォルダ名は次の通りです。

例：連番100のフォルダ名

```

100CASIO
├──
└── 連番(3桁)
    
```

各フォルダには最大9,999番までのファイルが登録できます。10,000枚以上撮影した場合は、次の連番のフォルダが自動的に作成されます。ファイル名は次の通りです。

例：26番目に記録したファイル名

```

CIMG0026.JPG
├── 拡張子
└── 連番(4桁)
    
```

- 保存できるフォルダ数、ファイル数は画質やメモリーカードの容量によって異なります。
- 詳しいディレクトリ構造に関しては「メモリー内のディレクトリ構造」(129ページ)をご覧ください。

ファイルの管理について

記録したファイルにメモリープロテクト(消去防止)をかける

大事なファイルを誤って消去してしまうことを防止する機能(メモリープロテクト)がついています。メモリープロテクトをかけたファイルは、消去操作(88ページ)により消去することはできません。メモリープロテクトのかけかたには、1ファイル単位、全ファイルの2通りがあります。

1ファイル単位でメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、[▶]を押します。



3. [◀][▶]でメモリープロテクトをかけたいファイルを表示させます。

4. [▲][▼]で“オン”を選び、[SET]を押します。

- メモリープロテクトがかかり、[▶]が画面面上に表示されます。
- メモリープロテクトを解除するときは、“オフ”を選んでください。



5. [MENU]を押して、メモリープロテクトを終了します。

ファイルの管理について

全ファイルにメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“全ファイル オン”を選び、[SET]を押します。
 - メモリープロテクトを解除するときは、“全ファイル オフ”を選んでください。
4. [MENU]を押して、メモリープロテクトを終了します。

お気に入りフォルダを使う

記録した思い出の風景や家族の写真など好きな静止画を「記録フォルダ」(129ページ)から内蔵メモリーの「お気に入りフォルダ」(“FAVORITE”フォルダ)(129ページ)にコピーすることができます。通常の再生では表示されないで、プライベートな画像を持ち歩くのに便利です。メモリーカードを入れ替えても画像は消えませんが、いつでも見ることができます。

お気に入りフォルダにファイルをコピー(登録)する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“登録”を選び、[SET]を押します。
 - 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のファイル名が表示されます。



4. [◀][▶]で、お気に入りフォルダに登録したいファイルを選びます。
5. [▲][▼]で“登録”を選び、[SET]を押します。
 - 内蔵メモリー内のお気に入りフォルダにファイルに登録します。
6. 設定を終えるには[▲][▼]で“キャンセル”を選び、[SET]を押します。

参考

- 画像は、320×240pixelsのQVGAサイズにリサイズしてコピーされます。
- 登録したファイルには、連番(0001～9999)がファイル名として自動的に付けられます。ただし、登録できるファイル数は画質等により異なり、内蔵メモリーの空き容量の範囲内となります。

重要!

- お気に入りフォルダにリサイズしてコピーされたファイルは、元の画像サイズに戻すことはできません。
- お気に入りフォルダに登録されているファイルは、メモリーカードにコピーすることはできません。

お気に入りフォルダのファイルを表示する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“表示”を選び、[SET]を押します。
4. [◀][▶]で、お気に入りフォルダに登録したファイルを見ていきます。
[▶]を押す：進みます。
[◀]を押す：戻ります。



5. 表示を終えるには[MENU]を2回押します。

参考

- [◀][▶]を押し続けると、画像は早く送られます。

重要!

- お気に入りフォルダ(“FAVORITEフォルダ”)は内蔵メモリーにのみ作成されるため、パソコン上でお気に入りフォルダのファイルを表示するときは、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットして、USB通信を行ってください(11B、124ページ)。

93

お気に入りフォルダから1ファイルずつ消去する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“表示”を選び、[SET]を押します。
4. [▼](☹)を押します。
5. [◀][▶]で、お気に入りフォルダから消去したいファイルを選びます。
6. [▲][▼]で“消去”を選び、[SET]を押します。
 - 消去を中止したいときは“キャンセル”を選んでください。
7. 消去を終えるには[▲][▼]で“キャンセル”を選び、[SET]を押します。

重要!

- お気に入りフォルダのファイルは、88ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作(104ページ)を行うと、消去されてしまいます。

お気に入りフォルダの全ファイルを消去する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“表示”を選び、[SET]を押します。
4. [▼](☹)を押します。
5. [▲][▼]で“全ファイル消去”を選び、[SET]を押してすべてのファイルを消去します。

重要!

- お気に入りフォルダのファイルは、88ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作(104ページ)を行うと、消去されてしまいます。

94

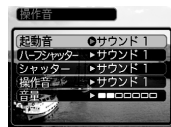
その他の設定について

カメラの音を設定する

4種類の音(起動音/ハーフシャッター音/シャッター音/操作音)とその音量を設定することができます。

4種類の音を設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “設定”タブ→“操作音”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で設定したい音を選び、[▶]を押します。
4. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。
サウンド1～5 : 内蔵されたサンプル音が鳴ります。
切 : 音は鳴りません。



参考

- 初期設定は、すべて“サウンド1”となります。

音量を設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “設定”タブ→“操作音”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“音量”を選びます。
4. [◀][▶]で再生したい音量を選び、[SET]を押します。
 - 音量は「0」(小)～「7」(大)の8段階の間で設定できます。
 - 音量を「0」に設定すると、音は鳴りません。

参考

- 初期設定は、「3」となります。

95

起動画面のオン/オフを切り替える

RECモードで電源を入れたとき、カメラが記録している画像を起動画面として、[液晶モニター]に約2秒間表示するかどうかを切り替えることができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “設定”タブ→“起動画面”と選び、[▶]を押します。
3. [◀][▶]で設定したい起動画面を表示させます。
4. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

入：設定時に表示していた画像を起動画面として表示します。

切：起動画面は表示しません。

参考

- 設定可能な画面は、下記の通りです。
 - 既に内蔵されている専用画像
 - 撮影した静止画
 - 撮影した音声付き静止画

- 起動画面に設定した撮影画像(静止画)は、起動画面メモリーに登録されます。このメモリーには、画像は一つしか登録できません。起動画面を別の撮影画像に変更すると、メモリー内の画像は上書きされてしまいますので、変更する前の撮影画像に戻すときは、変更する前の画像データが必要となります。
- 登録した起動画像は、フォーマット操作(104ページ)を行うと消去されます。
- 音声付き静止画を起動画面に設定したとき、音声は再生されません。

96

エンディング画面に表示する画像を設定する

カメラの電源が切れる前に、カメラに記録した画像をエンディング画面として表示する機能です。カメラで撮影した静止画や動画をエンディング画面として設定できます。

エンディング機能を設定する

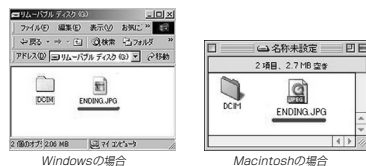
1. カメラをUSBケーブルでパソコンと接続します(118ページ)。
2. エンディング画面として使用する画像データを、内蔵メモリーのルートディレクトリ(第一階層)に入れます。



- ご使用のパソコン設定が「拡張子を表示しない。」になっていると拡張子は表示されません。例：CIMG0001
- メモリーカードをご使用の場合は、カメラからカードを抜いてからファイルをコピーしてください。

3. 画像データのファイル名を次のように変更します。

静止画の場合：ENDING.JPG
動画の場合：ENDING.AVI



- ご使用のパソコン設定が「拡張子を表示しない。」になっている場合は、拡張子(.JPGや.AVI)を入れないでください。例：ENDING

以上で設定が完了しました。内蔵メモリーをお使いの場合でもメモリーカードをお使いの場合でも【電源ボタン】を押して電源が切れる前にエンディング画面が表示されます。

重要!

- 静止画(JPEG)、動画(AVI)のみ設定可能です。
- カメラで撮影した画像がエンディングの対象となります。他の画像が入っているとエンディング機能が動作しない場合があります。
- 内蔵メモリーをフォーマットするとエンディング画面に設定されたファイルも消去されます。
- 静止画と動画の両方がエンディング画面として設定されている場合は動画がエンディング画面として選択されます。
- エンディング画面を途中で止めることはできませんので、動画をエンディング画面に設定される場合は、時間の短いものをおすすめします。

エンディング画面に表示する画像の設定を解除する

1. カメラをUSBケーブルでパソコンと接続します(118ページ)。
2. 内蔵メモリーに入れたENDING.JPGまたはENDING.AVIのファイル名を変更するか、画像データを削除します。

ファイルの連番のカウンタ方法を切り替える

撮影時にファイル(画像データ)に付く連番(90ページ)のカウンタ方法を切り替えることができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “設定”タブ→“ファイルNo.”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。
メモリする：今まで撮影したファイルの連番を記憶します。ファイルを消去したり、メモリーカードを交換しても、記憶した連番からファイル名を付けます。
メモリしない：ファイルの連番は記憶せずに、最大の連番+1からファイル名を付けます。

アラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らし、同時に指定した画像を表示できます。最大3つの時刻を設定できます。動画、音声付き静止画、ボイスレコードのファイルを指定した場合は、画像とともに音声も再生されます。

アラームを設定する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“アラーム”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で設定したいアラームを選び、[▶]を押します。
4. [◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で設定内容を選びます。
 - 時刻、1回/毎日、オン/オフが設定できます。
5. [DISP]を押します。
 - ここで[SET]を押してもアラームの設定を終えることができます。
6. [◀][▶]で表示したい画像を選び、[SET]を押します。
7. 内容を確認して[SET]を押します。
 - アラームの優先順は設定1、設定2、設定3です。

アラームを止める

アラームは電源をオフにした状態で、設定した時刻になると約1分間鳴り続けます。その後、電源オフの状態に戻ります。途中で止めたい場合は、何かボタンを押してください。USBクレードル上で充電中の場合は、USBクレードルの[USB]、[PHOTO]ボタン、カメラのボタンを押してください。

- 重要!**
- アラームは次の場合は鳴りません。
 - 電源がオンになっている
 - USB通信中
 - フォトスタンド機能使用中

日時を設定し直す

日時を設定し直したいときは、ホームタイム(自宅の日時)を設定してから、日時の設定を行います。

- 重要!**
- 日時の設定を行う前にホームタイムを自分の住んでいる地域に正しく設定しないとワールドタイム(101ページ)の日時が正しく表示されませんのでご注意ください。

ホームタイムの都市を設定し直す

1. RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、[▶]を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
3. [▲][▼]で“自宅”を選び、[▶]を押します。
4. [▲][▼]で“都市”を選び、[▶]を押します。
5. [▲][▼][◀][▶]で自宅の地域を選び、[SET]を押します。
6. [▲][▼]で自宅の都市を選び、[SET]を押します。
 - 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。
7. [SET]を押して、設定を終了します。

ホームタイムの日時を設定し直す

1. RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “設定”タブ→“日時設定”と選び、[▶]を押します。
3. 日付と時刻を合わせます。
[▲][▼]：カーソル(選択棒)の部分の数字などを変えます。
[◀][▶]：カーソル(選択棒)を移動します。
[DISP]：12時間表示と24時間表示の切り替えができます。
4. [SET]を押して、設定を終了します。

日付の表示スタイルを切り替える

画面に表示される日付の表示スタイルを3通りの中から選ぶことができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “設定”タブ→“表示スタイル”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。
例) 2004年12月24日
年/月/日：04/12/24
日/月/年：24/12/04
月/日/年：12/24/04

ワールドタイムを表示する



購入時に設定した自宅の日時とは別に、海外旅行などで訪問する都市の日時を1都市選んで表示することができます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。

ワールドタイムを表示させる

- RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
- “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、[▶]を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
- [▲][▼]で“訪問先”を選びます。

自宅：購入時に設定した自宅の日時を表示します。
訪問先：訪問先として設定した都市の日時を表示します。
- [SET]を押して、設定を終了します。

ワールドタイムを設定する

- RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
- “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、[▶]を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
- [▲][▼]で“訪問先”を選び、[▶]を押します。
 - 自宅の都市について設定する場合は、“自宅”を選びます。
- [▲][▼]で“都市”を選び、[▶]を押します。
- [▲][▼][◀][▶]で訪問先の地域を選び、[SET]を押します。
 
- [▲][▼]で訪問先の都市を選び、[SET]を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
- [SET]を押して、設定を終了します。

サマータイムを設定する

- RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
- “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、[▶]を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
- [▲][▼]で“訪問先”を選び、[▶]を押します。
 - 自宅の都市について設定する場合は、“自宅”を選びます。
- [▲][▼]で“サマータイム”を選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]でサマータイムの設定を選びます。

入：サマータイムになります。
切：通常の時刻になります。
- [SET]を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
- [SET]を押して、設定を終了します。

表示言語を切り替える

画面のメッセージを10の言語の中から選ぶことができます。

- RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
- “設定”タブ→“Language”と選び、[▶]を押します。
- [▲][▼][◀][▶]で設定内容を選び、[SET]を押します。

日本語	: 日本語
English	: 英語
Français	: フランス語
Deutsch	: ドイツ語
Español	: スペイン語
Italiano	: イタリア語
Português	: ポルトガル語
中國語	: 中国語(繁体)
中国語	: 中国語(简体)
한국어	: 韓国語

USB端子の通信方法を切り替える

パソコンやプリンターなどの外部機器と接続するときの、USB端子の通信方法を切り替えることができます。接続する機器にあわせて切り替えてください。

- RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
- “設定”タブ→“USB”と選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]で使用する機器にあわせて設定を選び、[SET]を押します。
 - Mass Storage (USB DIRECT - PRINT) :
パソコンやUSB DIRECT - PRINT対応(113ページ)のプリンターを接続する場合、こちらを選びます。パソコンにカメラを外部記憶装置として認識させる方法です。通常、パソコンへの画像の保存の操作時(付属のソフト「Photo Loader」使用時)はこちらを選んでください。
 - PTP (PicBridge) :
PicBridge対応(113ページ)のプリンターを接続する場合、こちらを選びます。画像データを外部接続機器に簡単に転送するための接続方法です。

[📷](REC)/[▶](PLAY)の動作を設定する

[📷](REC)や[▶](PLAY)を押しても電源が入らないようにしたり、[📷](REC)や[▶](PLAY)を押して電源を切ることができるように設定することができます。

- RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
- “設定”タブ→“REC/PLAY”と選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

パワーオン：[📷](REC)や[▶](PLAY)を押すと、電源が入ります。

パワーオン/オフ：[📷](REC)や[▶](PLAY)を押して、電源を入れたり切ったりできます。

切：[📷](REC)や[▶](PLAY)を押しても、電源は入りません。

重要! “パワーオン/オフ”に設定しているときは、RECモードで[📷](REC)を押した場合はPLAYモードで[▶](PLAY)を押したときに電源が切れます。

 - RECモードで[▶](PLAY)を押したときはPLAYモードに、PLAYモードで[📷](REC)を押したときはRECモードに切り替わります。

参考 初期設定は、“パワーオン”となります。

内蔵メモリーをフォーマットする

内蔵メモリーをフォーマットすると、内蔵メモリーの内容がすべて消去されます。

- 重要!** 内蔵メモリーをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- ファイルデータにメモリープロテクト(91ページ)をかけていても、内蔵メモリーをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。
 - お気に入りに登録した画像(92ページ)や、ベストショットモードでカスタム登録した内容(59ページ)についても消去されますのでご注意ください。起動画面に設定した画像(96ページ)や、エンディング画面(97ページ)も消去されます。
- 本機にメモリーカードが入っていないことを確認します。
 - もしもメモリーカードが入っている場合は、取り出してください(106ページ)。
 - RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。
 - “設定”タブ→“フォーマット”と選び、[▶]を押します。

- [▲][▼]で“フォーマット”を選び、[SET]を押します。
 - フォーマットを実行しないときは、“キャンセル”を選んでください。

メモリーカードを使用する

本機は、市販のメモリーカード(SDメモリーカードまたはMMC(マルチメディアカード))を使用することにより、記録用のメモリーを拡張することができます。また、内蔵のフラッシュメモリーからメモリーカードに、またはメモリーカードから内蔵フラッシュメモリーにファイルをコピーすることもできます。



- ファイルが記録されるメモリーは、次のように自動的に切り替わります。

メモリーカードを入れていないときは → 内蔵メモリーに記録されます。

メモリーカードを入れているときは → メモリーカードに記録されます。

- メモリーカードを入れた状態で内蔵メモリーを使用することはできません。

- 重要!**
- メモリーカードは必ずSDメモリーカードまたはMMC(マルチメディアカード)を使用してください。他のメモリーカードをお使いの場合は動作保障できません。また、動作確認を行ったメモリーカードについては、カシオホームページ(<http://www.casio.co.jp/>)をご覧ください。
 - メモリーカードを使う際はメモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。
 - カードの種類によって処理速度が異なる場合があります。
 - SDメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。ただし、撮影・フォーマット・消去時は解除しないと各操作が実行できません。
 - 静電気、電氣的ノイズ等により記録したデータが消滅または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア(CD-R、CD-RW、MOディスク、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。

105

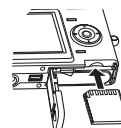
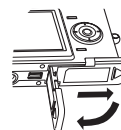
メモリーカードを使用する

メモリーカードを使う

- 重要!**
- メモリーカードの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
 - カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入ようとすると破損の恐れがあります。

メモリーカードを入れる

1. 本体側面の【電池カバー】を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開きます。

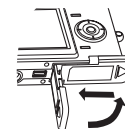


表面 裏面

2. メモリーカードの裏面を上(【液晶モニター】側)にして、【メモリーカード挿入口】にしっかり押し込みます。

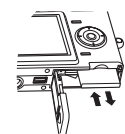
106

3. 【電池カバー】を図のように矢印の方向に押しつけながら、スライドして閉めます。



メモリーカードを取り出す

1. メモリーカードを押すと、メモリーカードが少し出てきます。
2. メモリーカードを引き抜きます。



- 重要!**
- 故障の原因となりますので、【メモリーカード挿入口】にはメモリーカード以外のものを入れないでください。
 - 万一異物や水がメモリーカード挿入口に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池を抜いて、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。
 - 【動作確認用ランプ】が点滅している間にメモリーカードを取り出さないでください。撮影された画像がメモリーカードに記録されなかったり、メモリーカードを破壊する場合があります。

メモリーカードを使用する

メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容がすべて消去されます。

- 重要!**
- メモリーカードは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると処理速度が著しく遅くなります。またSDメモリーカードの場合、SD規格非準拠となり、互換性・性能等で問題が生じる場合があります。
 - メモリーカードをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
 - ファイルデータにメモリープロテクト(91ページ)をかけていても、メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。

1. 本機にメモリーカードを入れます。
2. 電源を入れ、RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
3. “設定”タブ-“フォーマット”と選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で“フォーマット”を選び、【SET】を押します。
 - フォーマットを実行しないときは、“キャンセル”を選んでください。

メモリーカードのご注意

- 万一メモリーカードの異常が発生した場合は、メモリーカードのフォーマットの操作で復帰できますが、外出先などでこの操作を行えない場合に備えて複数枚のメモリーカードを持たれることをおすすめします。
- 異常と思われる画像を撮影したり、新たにメモリーカードをご購入された場合は、一度フォーマット(初期化)してお使いいただくことをおすすめいたします。
- フォーマットの操作を行うときは、充電式電池をフル充電状態にしてから行ってください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行われず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

107

メモリーカードを使用する


ファイルをコピーする

内蔵フラッシュメモリーとメモリーカードの間で、ファイルをコピーすることができます。

- 重要!**
- コピーできるのはカメラで撮影した静止画、動画、音声付き静止画、ボイスレコードファイルだけです。その他のファイルはコピーできませんので、ご注意ください。
 - お気に入りにフォルダに登録されているファイルは、コピーできません。
 - 音声付き画像は画像ファイルと音声ファイルの両方をコピーします。

内蔵メモリーからメモリーカードにファイルをコピーする

ファイルのコピーは、一括で行われます。

1. 本機にメモリーカードを入れます。
2. 電源を入れ、PLAYモードにして【MENU】を押します。
3. “再生機能”タブ-“コピー”と選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で“内蔵→カード”を選び、【SET】を押します。
 - コピーが始まり、“処理中です しばらくお待ちください”と表示されます。
 - コピーが終わると、コピーしたフォルダの一番最後にあるファイルを表示します。

108

メモリーカードから内蔵メモリーにファイルをコピーする

ファイルのコピーは画像を確認しながら、1枚ずつ行います。

1. 「内蔵メモリーからメモリーカードにファイルをコピーする」の手順1～3と同じ操作を行います。
2. [▲][▼]で「カード→内蔵」を選び、[SET]を押します。
3. [◀][▶]でコピーしたいファイルを選びます。
4. [▲][▼]で「コピー」を選び、[SET]を押します。
 - コピーが始まり、「処理中です」しばらくお待ちくださいと表示されます。
 - コピーが終わると、コピー前に表示していたファイルに戻ります。
 - 手順3～4をくり返して、他の画像をコピーすることができます。
5. [MENU]を押して、コピーの操作を終了します。

参考 • ファイルは内蔵メモリー内の一番大きい番号のフォルダにコピーされます。

プリント(印刷)する

プリント(印刷)するには

デジタルカメラで撮影した画像は、さまざまな方法でプリント(印刷)することができます。プリント方法は大きく分けて下記の3つになります。ご使用されている環境に合わせてプリントしてください。

■ お店でプリントする場合

DPOF 機能を利用することで、希望の画像を希望の枚数でプリントを依頼することができます。下記を参照してください。
→「DPOF 機能について」(111 ページ)

■ カードスロット付/デジタルカメラ接続対応プリンターでプリントする場合

DPOF 機能を利用することで、希望の画像を希望の枚数でプリントすることができます。また、PictBridgeまたはUSB DIRECT - PRINT に対応しているプリンターでは、カメラを直接プリンターに接続してプリントすることができます。下記を参照してください。
→「DPOF 機能について」(111 ページ)
→「PictBridge/USB DIRECT - PRINT について」(113 ページ)

■ パソコンソフトを使用してプリントする場合

Windows では、パソコンにカメラを接続して(118 ページ)、付属のソフト(Photo LoaderとPhotohands)をインストール(140 ページ)することで、画像の取り込み、管理、プリントをすることができます。下記を参照してください。
→「パソコンでファイルを見る」(118 ページ)
→「ソフトをインストールする」(140 ページ)

重要! • パソコンの接続方法、ソフトのインストール方法については上記のページをご覧ください。操作手順に従ってください。

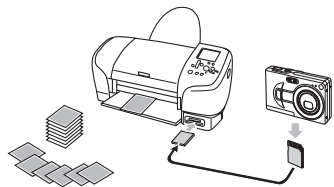
Macintosh では、パソコンにカメラを接続して(124 ページ)、付属のソフト(Photo Loader)をインストール(140 ページ)することで、画像の取り込み、管理ができます。ただし、プリントはできません。市販のプリント用ソフトをご利用ください。下記を参照してください。
→「パソコンでファイルを見る」(124 ページ)
→「ソフトをインストールする」(140 ページ)

重要! • パソコンの接続方法、ソフトのインストール方法については上記のページをご覧ください。操作手順に従ってください。

DPOF機能について

DPOF(Digital Print Order Format)とはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。DPOF対応の家庭用プリンターやサービ斯拉ボでプリントすることができます。本機では撮影された画像ファイル名などを意識することなく、【液晶モニター】で確認しながらプリントしたい画像の設定を行うことができます。

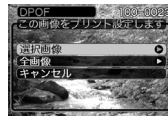
- 設定可能な内容
画像/枚数/日付



1 画像単位で印刷設定する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、[▶]を押します。



3. [▲][▼]で“選択画像”を選び、[▶]を押します。

4. [◀][▶]で印刷したい画像を表示させます。



5. [▲][▼]で印刷する枚数を決めます。
 - 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。

6. 日付を印刷したい場合は[DISP]を押して[☑]を表示させます。
 - [☑]は日付印刷が設定されたことを表します。
 - 日付が不要なときは、[DISP]を押して[☑]を消してください。
 - 他の画像を印刷する場合は、操作4～6をくり返してください。

7. [SET]を押します。
 - 印刷する枚数が設定されます。

全画像に印刷設定する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“全画像”を選び、[▶]を押します。

4. [▲][▼]で印刷する枚数を決めます。
 - 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。



5. 日付を印刷したい場合は[DISP]を押して[☑]を表示させます。
 - [☑]は日付印刷が設定されたことを表します。
 - 日付が不要なときは、[DISP]を押して[☑]を消してください。

6. [SET]を押します。
 - 印刷する枚数が設定されます。